

献血をご遠慮いただく場合

以下の事項に該当する方には、原則として献血をご遠慮いただいています。

◆当日の体調不良、服薬中、発熱等の方

・体調不良の方

献血当日の体調がよくない場合には、献血される方の安全を考慮して、献血をご遠慮いただくことがあります。

・食事・睡眠

過度の空腹や睡眠不足であると思われる場合、体調を考慮して献血をご遠慮いただいています。

・服薬

内服していても特に支障のない薬は、ビタミン剤およびごく一般的な胃腸薬などの類。それ以外は病気の種類や薬の種類によって献血をご遠慮いただくことがあります。また、外用薬、坐薬、点眼または点鼻薬でも、その内容により献血できない場合がありますが、その判断は医師が行います。

・発熱

具体的には、個人差や季節の影響もありますが、37.5℃以上の発熱をしている方が対象になります。

◆出血を伴う歯科治療（歯石除去を含む）を受けた方

治療日を含む3日間は献血をご遠慮いただいています。

◆一定期間内に予防接種を受けた方

◆6カ月以内にピアスの穴をあけた、またはピアスを付けた方

◆6カ月以内にいれずみを入れた方

◆外傷のある方

擦り傷や切り傷などがある場合は、傷の状態によって、献血をご遠慮いただくことがあります。

◆動物または人に咬まれた方

◆特定の病気にかかったことのある方

臓病・悪性腫瘍（がん）・けいれん性疾患・血液疾患・ぜんそく・脳卒中・梅毒等

◆海外旅行者および海外で生活したことがある方

◆輸血歴・臓器移植歴のある方

◆エイズ、肝炎などのウイルス保有者、またはそれと疑われる方

◆クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）の方、またはそれと疑われる方

◆妊娠中、授乳中等の方

◆新型コロナウイルスの検査を受けた、診断された等の方